

美術展鑑賞に行ってきました。

5月22日（金）に熊本へ美術展鑑賞に行ってきました。熊本県立美術館では、「印象派のふるさと ノルマンディー展」が開催されていました。北フランスのノルマンディー。19世紀から20世紀にかけて、セーヌ川の河口に織りなす風景や、余暇を楽しむ人々を描きました。印象派のモネや外光派のブーダン、コローやクールベら写実派、色彩の魔術師デュフィなどノルマンディーで活動した画家たちの作品を間のあたりにし、室内から戸外へと制作の場を移した遍歴を見ることができました。



熊本市現代美術館では、「館長庵野秀明 特撮博物館」を鑑賞しました。映画「ゴジラ」や「ラドン」、「モスラ」などの特撮に使われた様々なミニチュアやデザイン画から、「ウルトラマン」などの希少なマスク、主人公たちの乗り込む戦闘機のミニチュ



ア、プラモデルパッケージなどのイラストレーション原画、さらに、ミニチュア特撮の技術を駆使して制作された庵野秀明の企画による短編映画「巨神兵東京に現わる」(スタジオジブリ製作、樋口真嗣監督)の上映、特撮映画最盛期の美術倉庫を原寸大で再現した巨大インスタレーションなど、特撮の全貌をドラマチックに体験することができました。映画に係わる制作の側面を体験し、ものを描いたり、作ったりすることの意味を考えるきっかけとなりました。

